

## 2022 年度 保育所における自己点検・自己評価（筑後二川保育園）

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かしていきます。

[評価・記入の方法]・A B C Dの4段階評価です

- ・意見、改善策について話し合いを行い記述しています

A：十分できている  
 B：だいたいできている  
 C：やや不十分  
 D：改善を要する

[評価者]

- ・園長、主任、副主任、リーダー保育士（計6名）

項目

○保育の計画の作成と実施に関する評価

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染状況や国や自治体の方針が幾度か変わったが、その都度職員会議などで検討し、臨機応変に保育を行った。</li> <li>・子どもの人権と安全に今一度注視し「子どもの最善の利益」を担保できるような保育を心がけた。</li> </ul>
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか			○		
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか		○			
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか		○			
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか		○			
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢に即したカリキュラムを作成し保育実践に移し実施した保育を振り返る機会を定期的に設けた。「保育のPDCA」が明確になり、次の保育に生かせるような有効的な記録の執り方を検討していきたい。</li> <li>・「不適切な保育」「登降園管理」など、子どもの人権と安全に関する研修の機会を持った。</li> </ul>
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか		○			
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか			○		
	(4)素材・用具を適切に活用しているか		○			
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか		○			
日 時 程	(1)1日の流れ（デイリープログラム等）は、現行でよいか	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達や年齢に応じた生活リズムが無理なく作れていると思う。</li> </ul>
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事予定を作成時に職員会議などで行事の回数や内容等を精査している。</li> <li>・コロナ禍ではあったが、感染拡大防止対策を行いながら、出来る限り保護者の願いに沿え</li> </ul>
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか		○			
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか		○			

	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか		○			るよう努めた。 ・保育のPDCAに関しては特に振り返りを重視し改善につなげていった。
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか		○			
給食について	(1)給食献立は、園児に対しての工夫や配慮をしているか		○			・食材の安全・衛生管理はもちろん、離乳食やアレルギー食に対応できるように計画的に給食会議を行っている。
	(2)園児の年齢（月齢）を考慮した食育計画で、食育を実施しているか		○			・家庭での喫食状況を確認し、安全に提供できるよう努めた。
	(3)食材の安全・衛生管理に努めているか		○			
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	○				・個人情報については適切に取り扱っている。
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか		○			・公文書や個人情報の受諾、発送、処理は適切に行っている。
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか		○			・守秘義務を遵守し、名簿の作成・利用・破棄も適切である。
施設・設備	(1)施設内外、設備の安全点検を計画的に作成・処理しているか		○			・施設内外及び遊具などの点検は定期的に行い記録しているが、修繕までに時間がかかる場合があった。
	(2)遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか			○		・来園者確認、門の施錠解錠は決まり通りに行い、筑後警察署の指導の下、不審者対応訓練なども行った。
	(3)不審者等に対応する周到的な配慮を行っているか		○			
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか		○			
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか		○			・問題なく処理で来ている
開かれた保育所づくり	他施設・他機関との交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか			○	・コロナ禍で他園や地域との交流は持ちにくく、計画を立てるも「中止」となる場合が多かった。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事が出来るような配慮や援助・支援を行っているか			○	・職員会議などを通じて打ち合わせや共通理解の機会を持ち、よりよい援助が出来る様に努めている。
	(3)リーダー的立場にある職員同士が、打ち合わせを行うと同時に、職員一人ひとりの保育に対する理解を深め、子どもやその保護者の援助について共通理解を図っているか		○			・職員会議以外にも臨時的に短時間の打ち合わせや文書回覧を行うことにより、正職員だけでなく臨時職員やパート職員への情報の共有が出来る様に努めた。

開かれた保育所づくり		(4)学校公開日やその他の学校行事等に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事などへの参加はコロナ禍で中止となった。</li> <li>・市や消防などの機関とは連携し、電話での相談やオンラインでの指導を受けることで保育や家庭支援に生かした。</li> </ul>	
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動や保育、家庭支援に生かしているか			○		
	家庭・地域社会との連携	(1)ニーズに適切に対応し、保護者以外も対象にした参観日（園庭開放等）を設定しているか			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第3金曜日に保護者以外を対象にした「園見学」を設定し、園の説明や園庭の開放をしている。</li> <li>・コロナ禍ではあったが、感染対策を行いながら、外部講師を招いての「子どもの安全」や「不適切な保育」に関する園内研修を定期的に行う。</li> <li>・感染症対策をしながら幼年消防など地域の行事への参加も再開した。</li> </ul>	
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か			○		
		(3)（乳）幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか			○		
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか			○		
	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭やテラス、保育室等を開放しているか				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策を徹底し、人数制限をしたうえで園見学を受け付けるなど地域の保育園としての役割が果たせるように努めた。</li> <li>・保護者を対象とした子育ての学習会はぜひ行いたいところではあるが、コロナ禍の為実行には移せていない。</li> <li>・「気になる子ども」や「家庭」に関しては、筑後市の関係機関や児童相談所等の専門機関と連携を図り、その都度適切な対応が出来ていると思う。</li> </ul>
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか				○	
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか				○	
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか				○	
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	○				
	情報の発信	(1)園だより、クラスだより、ホームページ等で施設の情報を提供しているか	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で対面での情報提供や関わりがむずかしかった為、紙面での情報提供を強化した。</li> </ul>
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか				○	
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価の導入は未定。保護者会役員の意見を聴く等保護者の意見を伺い反映できるところは反映した。</li> </ul>
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか				○	

#### 総評・課題

#### 総合評価 【B】

新型コロナウイルス感染症の感染状況の変化や国や自治体の方針を受け、少しずつコロナ以前の保育に戻す動きに従っていった。また、子どもの安全と人権を重視した保育を行うための研修を複数回持つことで保育を振り返り改善する機会を設けた。今後も「保育の質」を上げる努力を継続していきたい。